

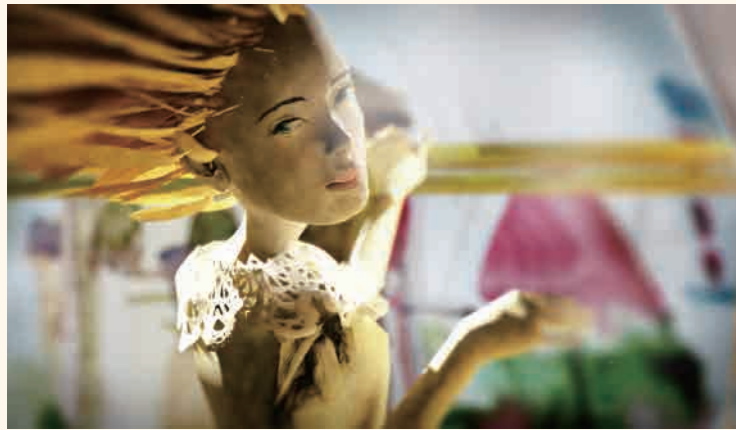
# 広島国際アニメーションフェスティバルとは

## ●コンペティションと特別上映プログラム

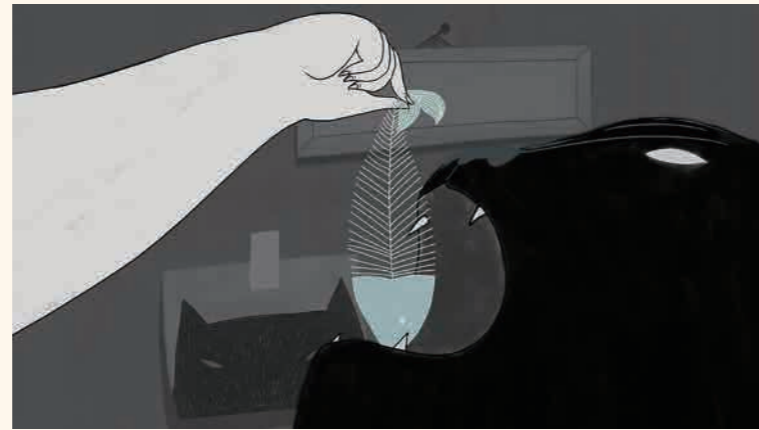
世界の優秀作品、長編作品、著名な作家の作品上映やトークなど、さまざまなアニメーションの上映等を行います。2018年の第17回大会では、エストニア大特集（265作品上映、38名の作家・関係者が出席）を含め、68プログラム647作品の上映を行い好評を博しました。開催期間5日間の入場者数は延べ30,874人でした。

コンペティションでは、国際審査委員が選定するグランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞など各賞のほか、観客の投票によって選ばれる観客賞が最終日に発表されます。世界中から多くの作品と監督が参加する国際映画祭ならではの醍醐味を楽しむことができます。広島国際アニメーションフェスティバルはアニメーション制作者を大切にしている映画祭として、また、世界で活躍するプロへの登竜門として、貢献し続けています。

## 第17回大会受賞作品



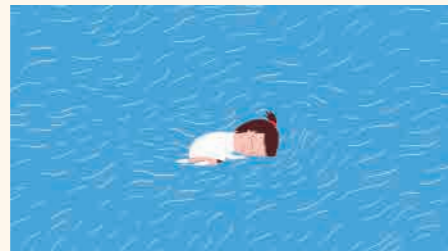
▲**グランプリ** 『ザプリスフルアクシデンタルデス』セルジウネグリチ（ルーマニア）



▲**ヒロシマ賞** 『ポンド』ユディトヴンデル（ハンガリー）



▲**デビュー賞** 『シロッコ』ロマンガルシア、ケヴィンタルピニアン、トマスロペス-マシ、アヴリルユブ、ロランマデック（フランス）



▲**観客賞・優秀賞** 『キャサリン』ブリットラース（ベルギー）



▲**木下蓮三賞** 『ジオウガ』ロレンブライバン（フランス）

### 国際審査委員特別賞



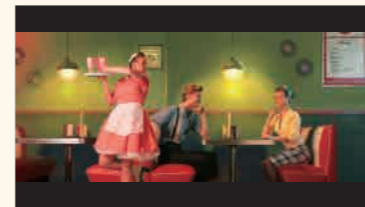
『XOXOハグアンドキス』  
ヴィオラソヴァ（ポーランド）



『エニグマ』  
アンドニスドゥシアス、アリスファツロス（ギリシャ）



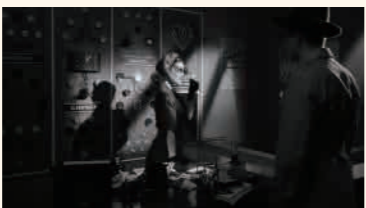
『ザポケットマン』  
アナチュビニゼ（スイス/フランス/ジョージア）



『ゴールデンオールディーズ』  
ダンヴェルシク、ヨーストリウマ（オランダ）



『ザロストガーデン』  
ナターリアチェルニエソヴァ（フランス）



『ピトゥイーンザシャドウズ』  
モニカサンドシュ、アリスギマライシュ（ポルトガル/フランス）



『マニヴァルド』  
シンティスルンドグレン（クロアチア/カナダ/エストニア）

### 優秀賞



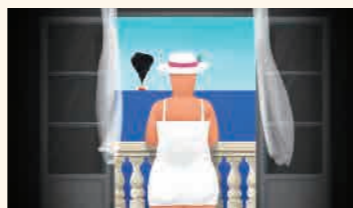
『スレスズ』  
トリルコーヴ（カナダ/ノルウェー）



『ヘイトフォアセール』  
アナエイスパウト（オランダ）



『プリーズフロッグ、ジャストワンシップ』  
ディックグローブラー（南アフリカ）



『サイクリスト』  
ヴェリコポボヴィチ（クロアチア/フランス）

## ●その他のプログラム【入場無料】

### ■展示

毎回、著名な作家等の展示を行います。ここでは2018年の第17回大会の展示概要を紹介します。

#### イシュバテル写真展

第17回大会の国際審査委員を務めたカナダのアニメーション作家イシュバテルによる写真展。バテルは、写真家アンリカルティエ=ブレッソンに師事し、師の「真実を写せ」という助言を全ての創作活動に取り入れてきた。2011年に撮影された、東南アジアの人々の日常や人生の瞬間、そして人間の尊厳を捉えた写真コレクションの展示。



#### マイケルデュドクドゥヴィット展



第17回大会の特別ゲスト、マイケルデュドクドゥヴィット監督が、長編『レッドタートルある島の物語』（2016年、81分）のために描いたアートワークの展示と、『レッドタートルある島の物語』の制作過程や、監督がこの作品に込めた思いなどを伝えるドキュメンタリー『The Longing of Michael Dudok de Wit』（監督:Maarten Schmidt & Thomas Doebele、2016年55分）の上映。

## ■エデュケーショナル・フィルム・マーケット



世界で唯一、学校・学生・企業を結ぶユニークなマーケットです。教育現場の活性化や、若い才能を発掘することを目的として開催します。国内のアニメーション専攻のある大学や専門学校が出展し、学校や学生作品を紹介し、世界の学生作品を閲覧できる視聴ブースもあります。多くのアニメーション教育機関の出展や皆様の参加をお待ちしております。

## ■ネクサス・ポイント

プロのための作品の持ち込み上映やプレゼンテーションを通じてビジネス交流の場として2004年の第10回大会から実施し、多くの作家や企業の皆様にご利用頂いています。希望者は、映画祭初日以降に、日時を申し込むだけで、無料でご利用いただくことができます。

## ■フレーム・イン

プロを目指す若者たちのための持ち込み上映や発表、また、インフォメーションの場として1994年の第5回大会で開催されて以来、好評を博しています。希望者は、映画祭初日以降に、日時を申し込むだけで、事前審査なしで作品を無料で上映することができます。

その際、大会に来場しているアニメーション関係者の批評やアドバイスを受けることもできます。また、大会ゲストによる特別セミナーも開催されます。

## ■ワークショップ

キッズ・クリップ…子どもたちを対象に、アニメーションを表現メディアのひとつとして体験、楽しむ場を提供します。世界の子どもたちが作った作品の上映もあります。大会期間中、いつでも自由に参加できます。

コンピュータ・アニメーション・メイキングワールド…子どもから大人まで、広く来場者を対象に、パソコンを使った簡単なアニメーションの制作を体験できる場を提供します。大会期間中、いつでも自由に参加できます。



#### エストニア展

第17回大会のエストニア・アニメーション大特集に伴い、エストニアの文化や歴史などを紹介するパネル展示及びエストニアの香り溢れる連作アニメーションや、作家を紹介するドキュメンタリーの上映。

